

## ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

### 1. 基本情報

ふりがな		いしぐろゆうすけ		
氏名		石黒 侑介		
所属		北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 / パルセロナ大学ホテル・観光		
役職		准教授 / 連携客員教授		
活動エリア		全国		
連絡先	住所	〒0600817	北海道札幌市北区北17条西8丁目	
	電話番号			
	メールアドレス	ishiguro ■ imc.hokudai.ac.jp ■ を@に変換		
キャッチコピー		世界標準の観光戦略を地域に落とし込む！		
自己PR		観光政策や観光組織をテーマに、行政組織や観光協会、DMOの皆様との共同研究、実践研究を積極的に行っています。特に観光地経営論(デスティネーション・マネジメント)における政策立案や財源・組織の構築などが専門で、現在は道内の自治体に加え、沖縄県の八重山諸島(石垣市、竹富町、与那国町)のDMO、スペイン・バルセロナ市政府、エクアドル・キト市のDMOなど、国内外の多くの行政組織、DMOとの連携研究を通じて、効果的なデスティネーション・マネジメントのあり方についての研究を進めています。 近年は、サステナブルツーリズム、観光振興の「量から質への転換」にも関心があり、道内では観光振興を財政的に持続可能なものとするための宿泊税、入域税などの検討にも関わっています。		
関連ホームページ		名称		アドレス
		北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院		<a href="https://www.imc.hokudai.ac.jp">https://www.imc.hokudai.ac.jp</a>
		石黒侑介個人ページ		<a href="https://www.ishiguroyusuke.com">https://www.ishiguroyusuke.com</a>

### 2. 略歴・受賞歴

略歴・受賞歴	<p>経歴&gt; 東京都出身 メキシコ・イバロアメリカナ大学国際関係学部留学を経て、横浜国立大学国際社会科学部国際関係法専攻開発協力コース修了(修士・国際経済法学) ◆2008年 財団法人日本交通公社(現・公益財団法人日本交通公社)入社(主にグリーン・ツーリズムやスポーツ宿泊誘致を通じた地域振興、インバウンド・ツーリズム推進に関する中央官庁、地方自治体の調査事業・研究、観光分野の国際協力案件に従事) ◆2014年 北海道大学観光学高等研究センター 特任准教授 ◆2017年 スペイン・バルセロナ大学ホテル観光学院連携客員教授を兼務 ◆2020年 北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 准教授 ◆2024年 北海道大学総長補佐(広報・社会連携本部) ◆主な公職 国土審議会北海道開発分科会計画部会委員、環境省知床世界自然遺産地域科学委員会 適正利用・エコツーリズムワーキンググループ委員、観光庁登録DMO一般社団法人美瑛町観光協会アドバイザー、観光庁登録DMO一般社団法人八重山ビクターズビューロー有識者委員会委員、函館市グリーン・ツーリズム推進会議 座長、ニセコ町観光審議会 委員、倶知安町景観審議会 委員、斜里町知床アクティビティリスク管理体制検討協議会 座長、美瑛町観光振興の財源検討委員会 座長など</p>
--------	--

### 3. 取組分野

● 観光	( 観光計画、観光戦略、DMO/観光協会の事業構築、持続可能な観光、オーパーツーリズム対策、宿泊税・入域税 )
● 農林水産業	( グリーンツーリズム戦略・事業 )
● 起業支援	( )
● まちなか再生	( )
● 集落再生	( )
● 環境	( )
● その他	( )

### 4. ふるさと財団での実績

外部専門家 (活用助成)	<p>◆2010年度～11年度 新潟県胎内市「米粉を軸とした地域食材の活用による商品開発事業」 ◆2024年度～ 北海道函館市「高付加価値・潜在型グリーンツーリズムによる農村地域の持続可能な発展モデル事業」</p>
-----------------	---

## 5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1) 事業名 : 美瑛町における観光マスタープラン策定  (2) 対象地 : 北海道美瑛町  (3) 事業目的:  美瑛町の包括的、長期的な観光まちづくり推進の基本方針を定めた観光マスタープランの策定およびそのために必要な各種調査の実施、住民との対話・合意形成  (4) 事業内容:  観光客を対象としたアンケート調査、旅行会社を対象としたインタビュー調査、ウェブ・パネルを用いたマーケティング調査、町内の資源・景観に関する調査を企画、実施した。また町民との対話・合意形成の機会としてワークショップを複数回開催し、観光マスタープランとして策定した。  (5) 事業による成果:  オーバーツーリズムに対する対策のほか、駐車場の有料化等を実現した。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1) 事業名 : 函館市におけるグリーンツーリズム推進  (2) 対象地 : 北海道函館市  (3) 事業目的:  函館市の農村地域活性化を目的に酒蔵、ワイナリー、酒米農家、ブランド・アスパラ農家等を巻き込んだ高付加価値型のグリーンツーリズムを実現する  (4) 事業内容:  グリーンツーリズム推進会議の座長として、先進地視察、合意形成、ブランド形成のためのディレクションを主導し、高付加価値・滞在型の新しいグリーンツーリズムの事業化を実現した。  (5) 事業による成果:  国外からも参加希望が寄せられるような訴求力の高いグリーンツーリズム商品、プログラムを開発し、事業化に向けた素地を整えた。</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1) 事業名 : 自然アクティビティのリスクマネジメント制度設計  (2) 対象地 : 北海道斜里町  (3) 事業目的:  2022年4月に発生した観光船の事故を受けて、知床における自然アクティビティのリスクマネジメントに関する新たな制度設計を行う  (4) 事業内容:  委員会の座長としてアクティビティ提供事業者等との意見交換を先導し、リスクの把握、共有、情報提供、抑制に係る制度設計、事業の企画を行った。  (5) 事業による成果:  アクティビティ・サポートセンターの立ち上げ、リスクに関する情報収集の枠組みを確立した。</p>
	<p>【取組事例④】</p> <p>(1) 事業名 : ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  (2) 対象地 : ○○県 ○○村  (3) 事業目的:    (4) 事業内容:    (5) 事業による成果:  </p>
	<p>※上記以外の取組内容・実績</p>